

仕様

ドアホン親機 (モニター親機)

電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.27 W 動作時：約5.0 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	150×120×30.2 (突起部除く)
質量	約420 g
使用環境条件	周囲温度： 0℃～+40℃ 湿度：90%以下
画面表示	3.5型TFTカラー液晶 ディスプレイ
通話方式	ハンズフリー方式
取付方法	露出壁掛け (壁掛け金具付属)

ドアホン子機 (カメラ玄関子機)

電源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	132×87×30.5 (突起部除く)
質量	約170 g
使用環境条件	周囲温度： -10℃～+50℃ 湿度：90%以下
取付方法	露出型： JIS 1 個用スイッチ ボックス (カバー付き) 適合
外観材質	難燃樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから 約50 cm以内)
照明方法	赤外線LED
防水性	IPX3* 旧JIS C 0920 保護等級3 「防雨構造」

*鉛直から両側に60°までの角度に噴霧した水によっても有害な影響をおよぼさないレベル

*夜間の映像は白黒になる場合があります。



取扱説明書

カラーテレビドアホン

品番 **DH-A35**

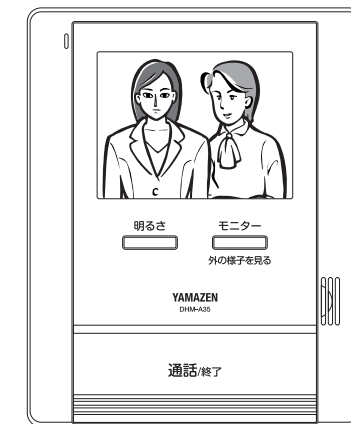
(DHM-A35 と DHC-A1 のセット)



ドアホン子機
DHC-A1



ドアホン親機
DHM-A35



このたびは、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます

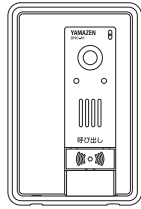
工事説明書
別添付

保証書

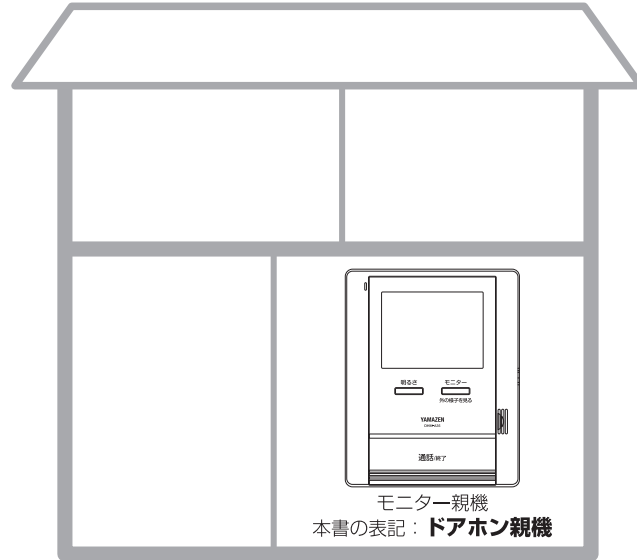
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4、5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

●下記は設置のイメージです



カメラ玄関子機
本書の表記：**ドアホン子機**



モニター親機
本書の表記：**ドアホン親機**

付属品・添付品 (付属品は設置時に使用します。詳しくは工事説明書をお読みください。)

付属品

ドアホン子機用

壁掛け用木ネジ(2個)
(4 mm × 20 mm)



壁掛け用小ネジ(2個)
(4 mm × 25 mm)



添付品

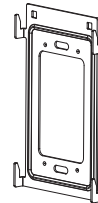
取扱説明書(保証書含む) 1冊

工事説明書 1部

付属品

ドアホン親機用

壁掛け金具(1個)



壁掛け用木ネジ(2個)
(4 mm × 20 mm)



壁掛け用小ネジ(2個)
(4 mm × 25 mm)



もくじ

安全上のご注意	4
お手入れ	6
知っておいていただきたいこと	7
各部の名称と働き	8
使い方	10
困ったとき	12
保証とアフターサービス	14
仕様	16

使用上のお願い

- 停電すると本機は使えません。
- 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホン子機を壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「損害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



実行しなければならない内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



禁止

指定以外の機器は接続しない

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解・修理・改造しない

火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。



禁止

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。



電源プラグを抜く

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。使用を中止し、販売店へご相談ください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



警告



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。修理は販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



禁止

湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

火災・感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



接触禁止

雷が鳴ったらドアホン親機の電源プラグに触れない

感電の原因になります。

注意



禁止

不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

落下により破損やけがの原因になることがあります。



禁止

スピーカーに耳を近づけて使用しない

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。



電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く

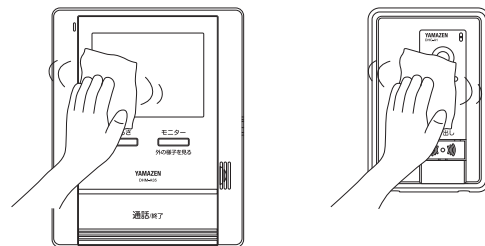
感電・ショートして発火する原因になります。

お手入れ

お手入れするときは、ドアホン親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

柔らかい布でから拭きする

汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。



お願い

お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

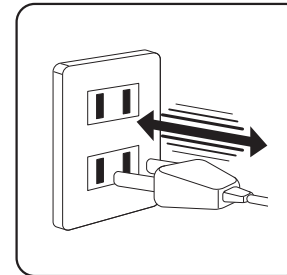
知っておいていただきたいこと

電源プラグ・コードについて

●電源プラグの刃が変形したり変色している場合や、コードにキズなどがある、コードを曲げると電源が入ったり切れたりする場合は、使用を中止して修理をご依頼ください。

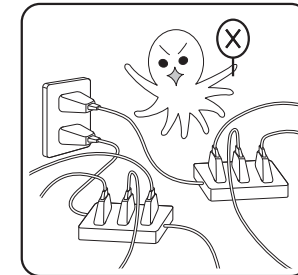
コンセントについて

●コンセントなどの配線器具は、設置後徐々に経年劣化し最悪の場合は、焼損・火災の原因になります。異常を感じたら下記の点検を行ってください。電源プラグやコンセントが熱かったり、変形したときはコンセントの交換が必要です。また、次のような使用は寿命を短くしたり電気事故の原因になります。



短寿命

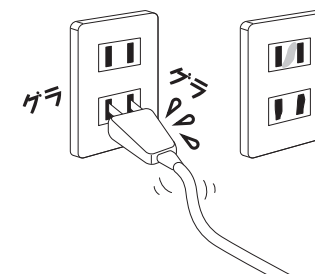
コンセントへの抜き差しが頻繁、また電源プラグを斜めに抜き差しする



危険

タコ足配線は火災の原因に

コンセントの点検 (次のようなコンセントは早めに交換してください。)



●電源プラグが楽に差し込めたり、すぐに抜けてくる。
●変色していたり、変形している。

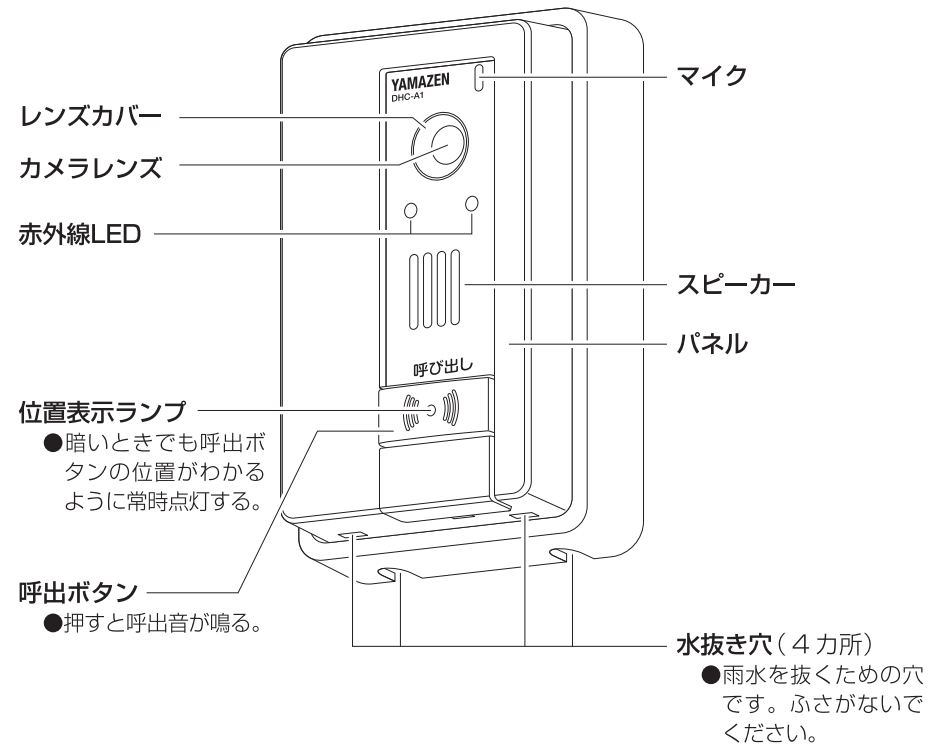
※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むのに力がいらいます。

その他

●この商品は、一般家庭用です。

各部の名称と働き

ドアホン子機

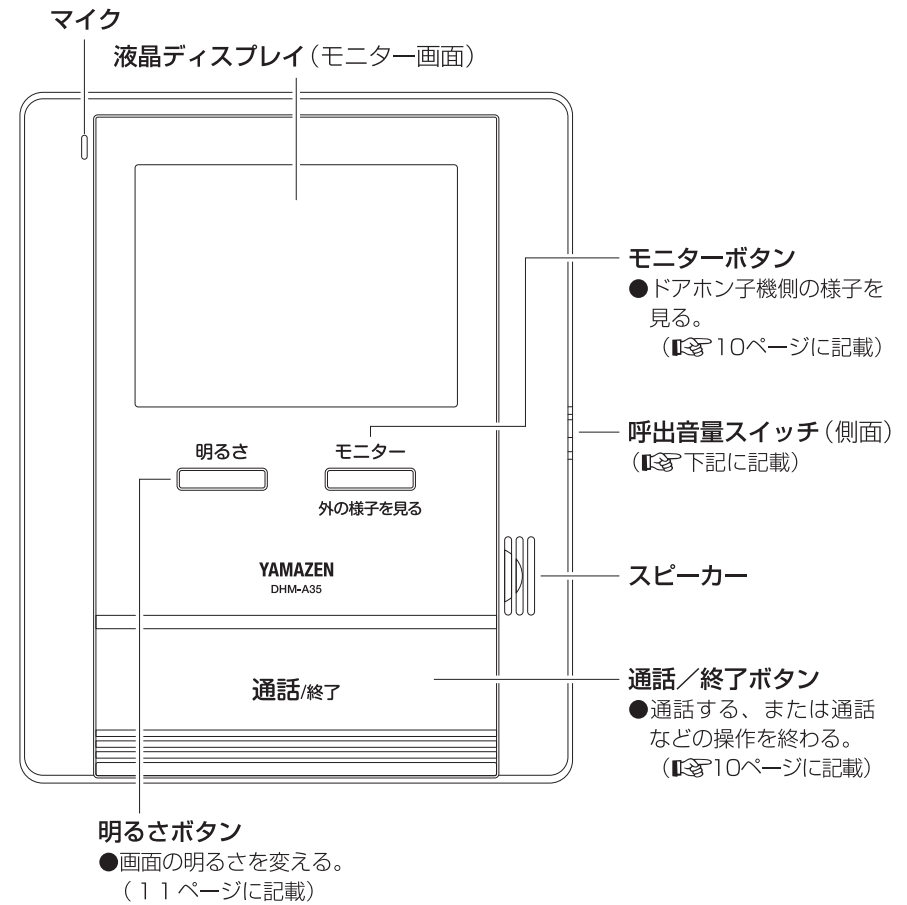


ドアホン子機の画質について

(下記のような場合がありますが、故障ではありません。)

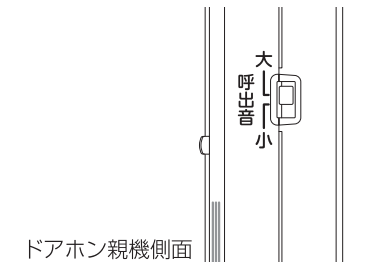
- 太陽が映るとき、太陽の中心部が黒点に見える。
- 夜間などドアホン子機の周囲が暗くなってくると色味が落ちる。また、外灯などで明るい所は緑っぽく映る。
- 昼間などドアホン子機の周囲が明るいとき、来客者の服装(色など)によっては色味が異なって映る。

ドアホン親機



呼出音量スイッチ(呼出音量を2段階で調節できます。)

- 通話中の会話音量は変えられません。



使い方

呼び出しに应答する

「ピーンポーン」と鳴ったら、**通話/終了**を押して相手と話す。

1

約50 cm以内で相手と交互に話す
●同時に話すと声が途切れます。

2 終わったら、**通話/終了**を押す。
※呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し映像が消えます。

お知らせ

- 呼び出しが無い場合でも**通話/終了**を押すと、モニターが点灯し通話状態となります。(室内の音声がドアホン子機側に聞こえる状態となりますので、ご注意ください。)

ドアホン子機側の様子を見る (ドアホンモニター)

1

モニター 外の様子を見る を押す。

- 映像が映り、周囲の音が聞こえる。(こちらの声はドアホン子機側には聞こえません)

2 終了の際には **モニター** 外の様子を見る を押す。(**通話/終了** ボタンでも終了する事ができます。)
※モニターは約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。

画面の明るさを変える

映像表示中に、**明るさ** を押す(押すごとに切り替わる：5段階)(工場出荷時はレベル3です。)

- リセット(13ページ)や停電すると、設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

お知らせ

- モニター中にドアホン子機側の相手と話すことはできません。相手と話すには、一度モニターを終了し、**通話/終了**を押してください。

困った時

こんな時(症状など)	原因と対応	ページ
被写体が白黒(または青紫)っぽく映ったり、背景が緑っぽく映る	●夜間など、ドアホン子機の周囲が暗くありませんか? →ドアホン子機の周囲が暗くなると色味が落ちるため、被写体が白黒(または青紫)っぽく映ります。また、外灯などで明るい所は緑っぽく映りますが、故障ではありません。	—
映像がはっきりしない ●焦点が合わない	●ドアホン子機のレンズカバーが汚れていませんか? →柔らかい乾いた布で拭いてください。 ●ドアホン子機のレンズカバーが結露していませんか? →周囲の温度が常温に戻れば回復します。	6
人の顔が暗く映る	●ドアホン子機を逆光になる位置に設置していると、来客者の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 →逆光にならない位置に設置してください。または、明るさの設定で画面が明るく調節してください。(ただし、背景も白っぽくなります)	11
映像全体が白っぽい、または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか? →映像表示中に明るさを調節してください。	11
映像が白っぽい。または白い縦筋や輪が表示される	●ドアホン子機のレンズに太陽光などの強い光が当たると見えにくくなる場合があります。(故障ではありません) →直接太陽が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン子機全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	—
画面の背景に、小さい黒点がある	●太陽が映り込んでいませんか? →太陽が映ると、太陽の中心部が黒点に見えることがあります。故障ではありません。	—
画面全体がちらつく	●ドアホン子機の近くに蛍光灯など交流電灯の照明がいませんか? →周囲が暗くなってくると照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)	—

こんな時(症状など)	原因と対応	ページ
●通話ができない ●呼出音が定期的に鳴る	●通話/終了と ^{明るさ} を同時に約10秒間押してください。(※リセット) 「カチッと音がする」電源が自動的にOFFとなり初期状態となります。 それでも直らない時はお買い上げの販売店にご相談ください。	—
正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らない時は、通話/終了と ^{明るさ} を同時に約10秒間押してください。(※リセット) 「カチッと音がする」電源が自動的にOFFとなり初期状態となります。 それでも直らない時はお買い上げの販売店にご相談ください。	—
ドアホン親機が動作しない ●映像が映らない ●呼出音が鳴らない ●音が出ない	●電源プラグがコンセントから外れている。または、外れかけていませんか? →電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●電源直結工事をしてご使用の時 →お買い上げの販売店にご相談ください。	—

※リセット状態
画面の明るさが工場出荷時(レベル3)となります。

アフターサービスと保証

よくお読みください

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

修理を依頼される時は

☎ 「12ページの困った時」に添ってご確認していただき、それでも異常のある時はただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

山善 お客様サポートセンター

ナビダイヤル ☎ 0570-002-112

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。



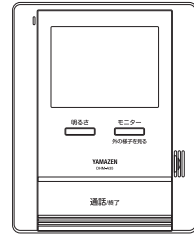
工事説明書

カラーテレビドアホン

品番 **DH-A35**

(DHM-A35 と DHC-A1 のセット) ドアホン親機 DHM-A35

ドアホン子機 DHC-A1



工事をされる方へ

- 本書をよくお読みの上、正しく安全に設置してください。特に「安全上のご注意」は、設置前にお読みください。正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。
- 既設の配線を使用する場合は、「工事について」を必ずお読みください。
- 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。
- 工事終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。
- 本書では、カメラ玄関子機を「ドアホン子機」、モニター親機を「ドアホン親機」と表記しています。

付属品・添付品

付属品	付属品
ドアホン子機用 壁掛け用木ネジ(2個) (4 mm × 20 mm)	ドアホン親機用 壁掛け金具(1個)
壁掛け用小ネジ(2個) (4 mm × 25 mm)	
添付品	
取扱説明書(保証書含む)	1冊
工事説明書(本書)	1部
	壁掛け用木ネジ(2個) (4 mm × 20 mm)
	壁掛け用小ネジ(2個) (4 mm × 25 mm)

設置上のごお願い

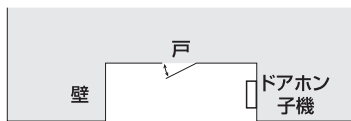
<設置場所について>

こんな所には設置しない(故障や動作障害などの原因になります)

- 振動、衝撃のある所
- 反響の多い所
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり有毒ガスなどの発生する所
- テレビ、電子レンジ、パソコン、エアコンなどの電気製品の近く

ドアホン子機の設置について

- 逆光になる場所への設置は避けてください。(来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります)
- 下図のように反響の多い場所では、「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。



- ドアホン子機の防水性は下記のとおりです。

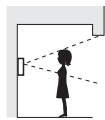
IPX3* (旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)

*鉛直から両側に60度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響をおよぼさないレベル

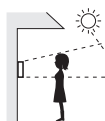
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。

<逆光になる場所>

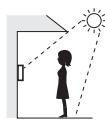
背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光があたるような、明るい玄関



ドアホン親機の設置について

- 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。
- ドアホン子機から約5 m以上離して設置してください。
- 本体の上下左右に20 cm以上の空間をとってください。また、壁を深くくぼませたスペースの設置はできるだけ避けてください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 本体を埋め込まないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「損害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいいない内容です。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

実行しなければならない内容です。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告

■分解・修理・改造しない



火災・感電の原因になります。

分解禁止

- 修理は販売店へご相談ください。

■AC100 Vの電源直結工事は資格を持つ者が行う



感電の原因になります。

- 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。

■雷のときは配線工事をしない



火災・感電の原因になります。

禁止

■電源(AC100 V)を入れたまま配線工事をしない



感電の原因になります。

禁止

<工事について>

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
(1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
(2) 3 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
(3) ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線2線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値(直流ループ抵抗)を測定するうえ、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 Vにて1 MΩ以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗10 Ω以内(配線距離100 m以内で)

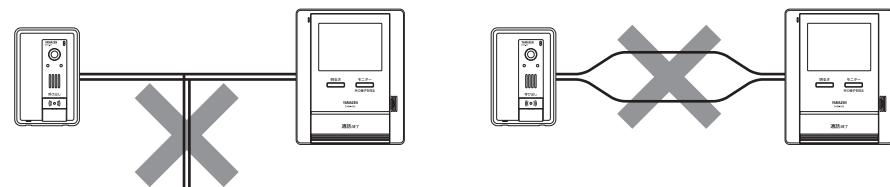
- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
・使用する埋め込みボックスに、堅牢な隔壁(電源線と他の信号配線材の間)を設ける。
・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
・配線材はAC600 V以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC100 V以上の電力線(電灯線)とは1 m以上離して配管工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。

線種と配線距離について(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線種	配線距離
ドアホン親機 ~ ドアホン子機	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線(mm): φ0.65~φ0.8	100 m以内

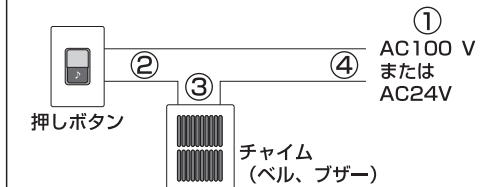
既設(チャイム/ベル/ブザー/テレビドアホン/音声ドアホン)の配線を使用して本機を取り付けるとき

- 既設の配線に電源(AC100 V、24 Vなど)が接続されている可能性があるため、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。(誤って接続すると故障の原因になります)
- 工事の際には、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種と配線距離を確認してから、右上の「既設の配線例と取り付け手順」に従って配線してください。
- 本書の「線種と配線距離について」の内容に合わない場合、正常に動作しないことがあります。
・線種がφ1.6 mmのときは、配線材を取り替える
・線種が「より線」のときは、棒型圧着端子(市販品)を取り付けてから接続する(工事表面「ドアホン親機を取り付ける」の手順3)
- ドアホン親機とドアホン子機間に不要な配線材があるときには、取り除くか新たに配線してください。また、下記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。正常に動作しないことがあります。



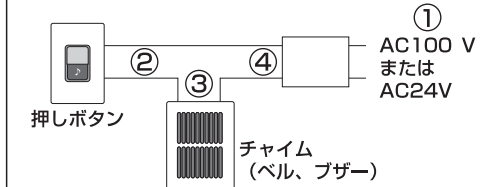
既設の配線例と取り付け手順

乾電池の不要なチャイムなど

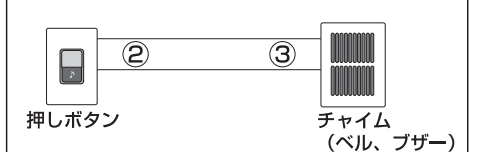


- ①電源線(AC100 Vまたは24 V)を外す。*1
・トランスがある場合はトランスの電源線を外す。
- ②押しボタンの配線(2芯)を外し、ドアホン子機に接続する。
- ③チャイムの配線(2芯)を外し、両先端をつなぐ。(ショートする)
- ④押しボタンとチャイムからの配線(2芯)をドアホン親機の連結端子に接続する。
・押しボタンとチャイムからの配線(2芯)がトランスに接続されている場合はトランスから外し、ドアホン親機に接続する。
- ⑤ドアホン親機の電源(AC100 V)を入れる。
*1 外した電源線をドアホン親機の1、2番の端子に接続しないでください。

電源線がトランスに接続されている場合

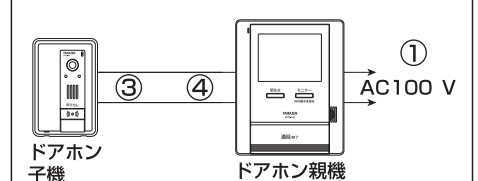


乾電池式のチャイム



- ①チャイムの乾電池を取り外す。
- ②押しボタンの配線(2芯)を外し、ドアホン子機に接続する。
- ③チャイムの配線(2芯)を外し、ドアホン親機の1、2番の端子に接続する。
- ④ドアホン親機の電源(AC100 V)を入れる。

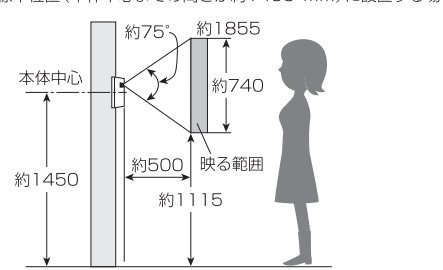
テレビドアホンや音声ドアホン



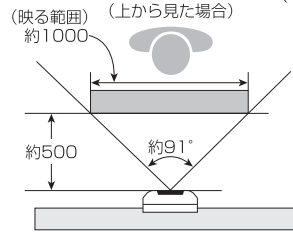
- ①既設のドアホン親機の電源線(AC100 V)を外す。
- ②既設のドアホン親機とドアホン子機を取り外す。*2
- ③既設のドアホン子機の配線(2芯)を新しいドアホン子機に接続する。
- ④既設のドアホン親機の配線(2芯)を新しいドアホン親機の1、2番の端子に接続する。
- ⑤既設のドアホン親機の電源(AC100 V)を入れる。
*2 既設のドアホン親機を取り外す前に、新しいドアホン子機を接続しないでください。

設置上のお願い<ドアホン子機、ドアホン親機、壁掛け金具の取り付け位置について>

ドアホン子機の取り付け位置とカメラに映る範囲
標準位置(本体中心までの高さが約1450 mm)に設置する場合

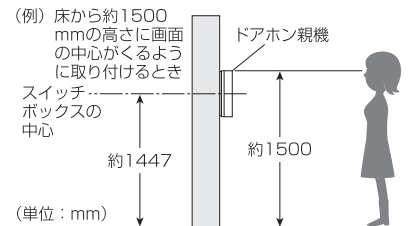


下記はカメラから約500 mm離れた場合の数値です。(単位: mm)



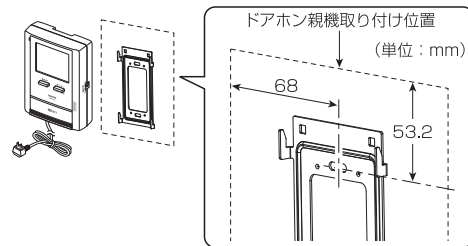
■ドアホン親機の取り付け位置(高さ)

よくご利用になる方の目の高さにモニター画面の中心が来るよう取り付けてください。



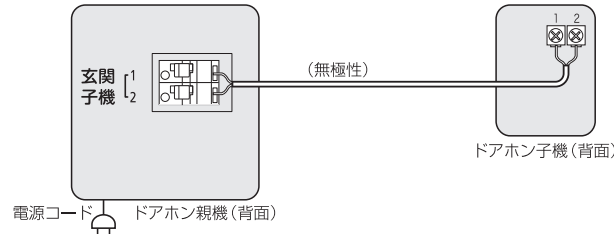
■壁掛け金具の取り付け位置

ドアホン親機の取り付け位置が指定されている場合、壁掛け金具は下図の位置に取り付けてください。



配線系統図

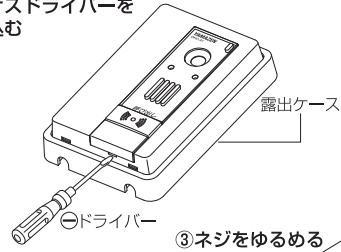
配線系統図および「線種と配線距離について」(P.8 表面)に従って正しく配線してください。



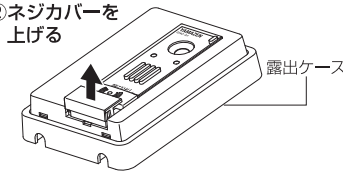
ドアホン子機を取り付ける

1 露出ケースを外す

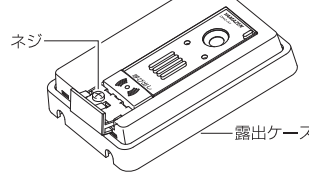
①マイナスドライバーを差し込む



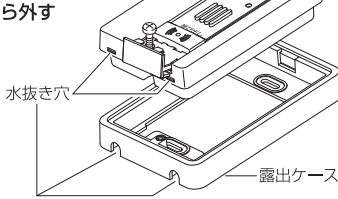
②ネジカバーを上げる



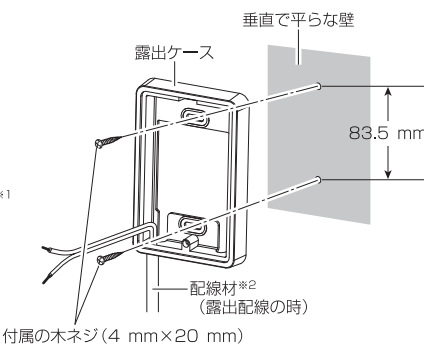
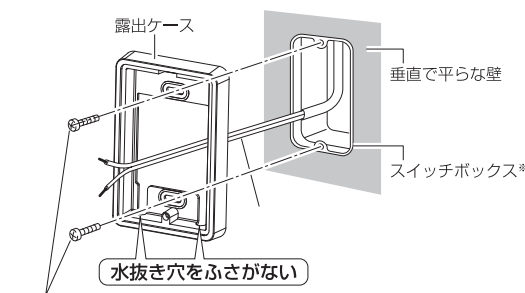
③ネジをゆるめる



④本体を露出ケースから外す



2 露出ケースを壁面に確実に取り付け



※1 JIS1個用スイッチボックス(カバー付き)

●カバーなしには取り付けられません。

●底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

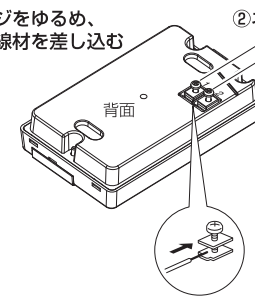
※2 既設の配線を使用する場合、電源線(AC100 Vなど)の可能性がありますが。そのときは、電源を取り除いてください。

(P.8 表面「既設の配線例と取り付け手順」)

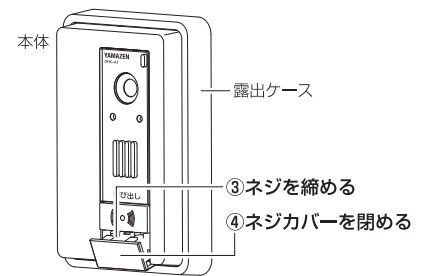
3 配線材を接続し、本体を取り付け、固定する

●取り付け後は、本体表面の保護フィルムを必ず取り外してください。

①ネジをゆるめ、配線材を差し込む



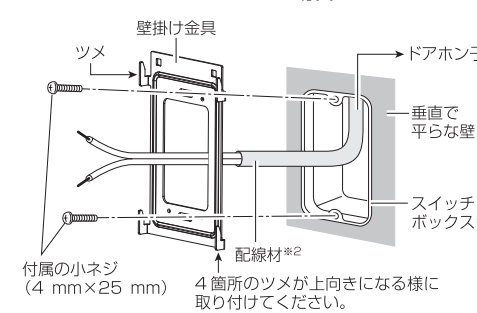
②ネジを締める



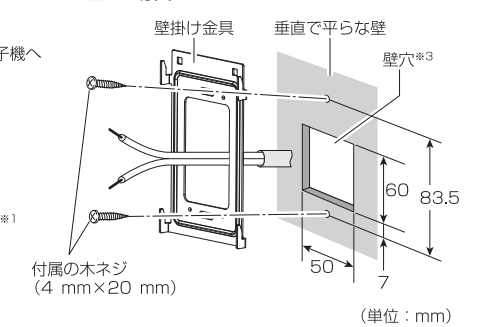
ドアホン親機を取り付ける

1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付け

■スイッチボックスの場合



■壁の場合



※1 JIS1個用スイッチボックス(カバー付き)

●カバーなしには取り付けられません。

●電源線とその他の信号配線材などが混在する場合には、絶縁セパレーターをとりつけてください。

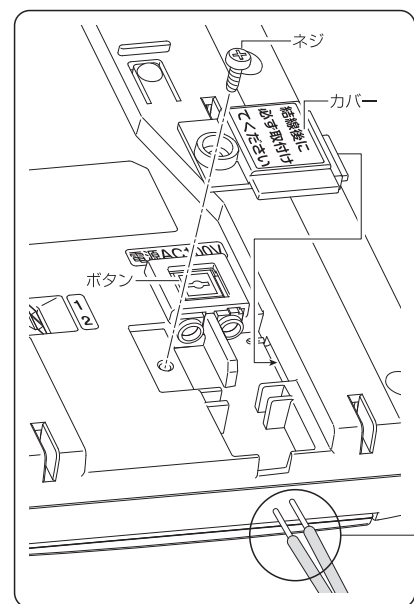
※2 既設の配線を使用する場合、電源線(AC100 Vなど)の可能性がありますが。そのときは、電源を取り除いてください。(P.8 表面「既設の配線例と取り付け手順」)

※3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

ドアホン親機を取り付ける

2 [AC100 V電源線を直結する場合のみ]

電源線を接続する 電気工事士の資格が必要

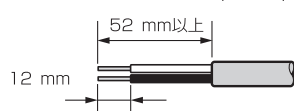


①電源コードカバーを取り外す(取り外したカバーは使用しません)

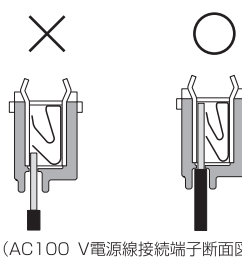
②ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す

③AC100V電源線を下記のように接続する

1. 被ふくを12 mmむく(線種: φ1.6~φ2.0単芯線)



2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



(AC100 V電源線接続端子断面図)

注意

奥まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

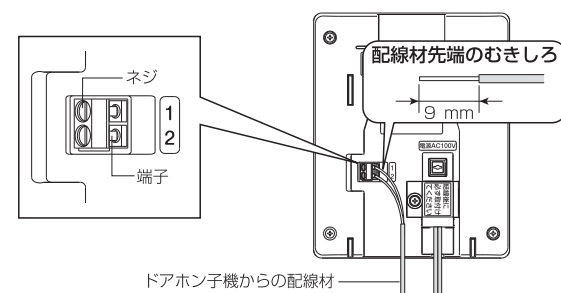
3 配線材を接続する

●電源線(AC100 Vなど)は、絶対に接続しないでください。故障の原因になります。

●配線系統図に従って正しく接続してください。

●ネジをドライバーでゆるめ、配線材を差し込みます。

●ネジを締めます。

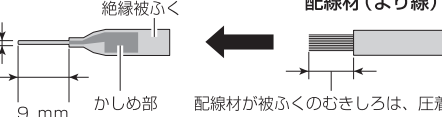


配線材の線種が「より線」の場合

より確実に結線するため、下図の寸法の棒型圧着端子(市販品)を取り付けてから接続をしてください。また、隣の端子と接触(ショート)しないように、絶縁被ふく式をご使用ください。

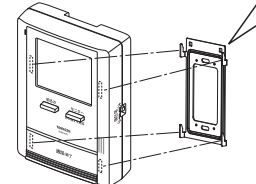
●市販の圧着端子の入手が困難な場合は、電気工事店にご相談ください。

棒型圧着端子(市販品)

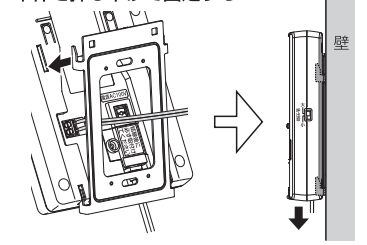


4 ドアホン親機を取り付ける

①金具の下のツメを本体の溝に合わせる



②金具の上のツメを本体の溝に合わせ、本体を押し下げて固定する



5 [電源プラグで使用する場合のみ]

電源プラグをコンセント(AC100 V)に差し込み

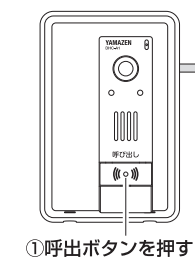
正しく動作するか確認する

取り付け・接続後・正しく配線できているか下記の手順で動作を確認してください。

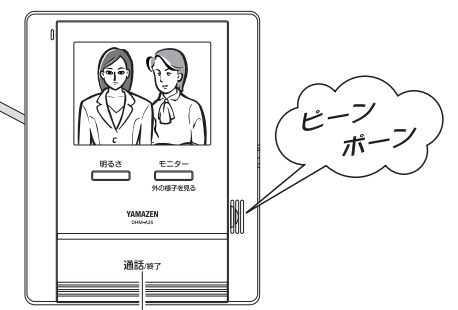
①ドアホン子機の呼出しボタンを押し、ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ることを確認してください。

②ドアホン親機の「通話」ボタンを押し、ドアホンと通話できることを確認してください。

●確認が終わったら、ドアホン親機の「通話」ボタンを押してください。



①呼出ボタンを押す



②「通話」ボタンを押す

■ドアホン親機が動作しないとき

正しく配線されていない可能性があります。次のことを確認してください。

●ドアホン子機側、ドアホン親機側の端子に、それぞれ配線材が確実に接続されていますか?

●正しく接続したのにドアホン親機がならない場合、壁内での配線がおかしくなっている可能性があります。下記の手順で、確認してください。

①いったんドアホン子機を外してドアホン親機の近くに持って行く

②短い配線材などを使って右図のように直接つなぐ

③再度、動作を確認する

正常に動作すれば、壁内の配線に問題があります。配線を確認してください。

